

日本で最も美しい村議会



鶴居村

# つるい議会だより

子ども達の笑顔と未来のために



## 愛は未来を育てる

### 3月定例会

平成25年度予算……………P2～P5

チェックは厳しく

予算Q&A……………P6～P7

議案審議・意見書……………P8～P12

村政のここが聞きたい

一般質問……………P13～P19

しっかり報告

委員会報告……………P20～P21

村民の声……………P22



the most beautiful  
villages  
in japan



## ゆるぎない**財政**基盤の維持

# 積極的予算配分

### 当初予算

新規予算では、保育ママ制度運営委託費299万6千円、野生鳥獣被害対策協議会補助金115万2千円、観光振興ビジョン事前調査委託費370万7千円、橋梁長寿命化修繕計画策定委託費500万円など、少子化対策、自然と調和の取れた産業、観光を中心とした新しい産業の構築、そして、安心安全のまちづくりのための中長期的予算が計上され「一般会計総額 31億8,600万円」となっています。

#### 保育ママ制度運営委託

三歳未満児の保育で保護者負担が軽減されます。保育ママの養成と確保に努め、更なる子育て環境の充実を図ります。(P7参照)



299万円

#### 観光振興ビジョン事前調査委託

商工・観光産業を取り巻く環境と実態を把握し、ハード、ソフト両面を含めた今後の振興策を調査します。(P18参照)



370万円

#### 野生鳥獣被害対策協議会補助金

鳥獣被害防止計画策定が目的で、3年ごとに見直しを行います。



115万円

#### 橋梁長寿命化修繕計画策定委託

平成26年度から、54ヶ所の橋を年次的に修繕する計画を立てます。



500万円

平成25年度一般会計予算可決  
前年比9.9%減の31億8600万円  
(注1 下段参照)

### 注1

平成25年度の一般会計歳入歳出予算総額は、「前年比5.7%増の歳入歳出総額40億6,285万円」の予算計上を検討していました。

しかし、国の補正・本予算を含めた「15ヶ月予算案」が通り、鶴居小学校改築主体工事費等7億1,536万円、公営住宅新築工事1億1,875万円、消防貯水槽建設工事1,313万円、道営草地整備事業負担3,000万円など総額で8億7,685万円が前倒しされ、24年度の繰越明許費となり平成25年度の予算は、31億8,600万円となり、前年比9.9%減となりました。



# 大石村長 笑顔と活気ある美しい村予算

## 鶴居小学校本工事



### 24年度繰越明許費（注2）

鶴居小学校校舎改築施工管理委託	1,528万円
鶴居小学校仮設校舎解体撤去等施工管理委託	51万円
鶴居小学校校舎改築Ⅱ期工事	6億6,713万円
鶴居小学校仮設校舎解体撤去等工事	1,863万円
鶴居小学校屋外トイレ建設工事	1,380万円

（注2）繰越明許費とは・・・事業の性質上、または何らかの事情でその年度内に支出を終わらない見込みがある経費について、翌年度に繰り越して使用することができるように議会の議決を経て定める予算。

### 新規 映像ホー儿映写機購入費

色の再現性が低く導入後13年が経過し、経年劣化したための購入です。



433万円

### 新規 鶴居中学校校舎耐震補強実施設計委託

平成26年度に耐震補強工事を行うための設計委託です。



309万円



# 25年度注目新規事業

3月定例会では前ページにあげた事業以外にも、村民の皆さんに関わりのある新規事業が可決されました。注目事業を紹介します。

## 鶴居A団地公営住宅新築工事 1棟6戸

公営住宅ストック活用計画に基づき住生活環境の整備をします。



1億1,875万円

## 耐震性貯水槽建設工事

本村の防災システムの充実のために、「支雪裡地区と幌呂市街地区」に建設します。



1,273万円

## 新マスコットキャラクター制作委託

「鶴居のゆるキャラ」のデザインを全国公募する費用です。



標茶町の  
ゆるキャラです

33万円

## 消防救急デジタル無線整備事業

デジタル化に向けての鉄塔や無線設備を整備する事業です。



8,270万円

## 空き家バンクモデル助成事業補助

本村への移住・定住を促進するため、空き家を有効活用するモデル事業(1戸)です。



50万円

## 不燃ごみ分別作業所建設事業

不燃ごみに可燃ごみの混入が相当量確認されることから、分別作業所を建設する費用です。



1,450万円



## 平成25年度 一般会計・特別会計予算

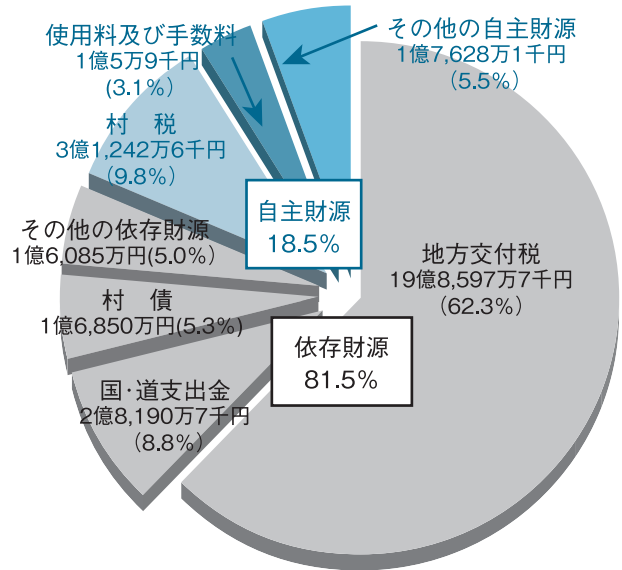
平成25年度の村の一般会計と6つの特別会計を合わせた当初予算総額が、39億9,900万円と決定しました。

平成24年度との比較では、3億4,730万円の8.0%減となりました。

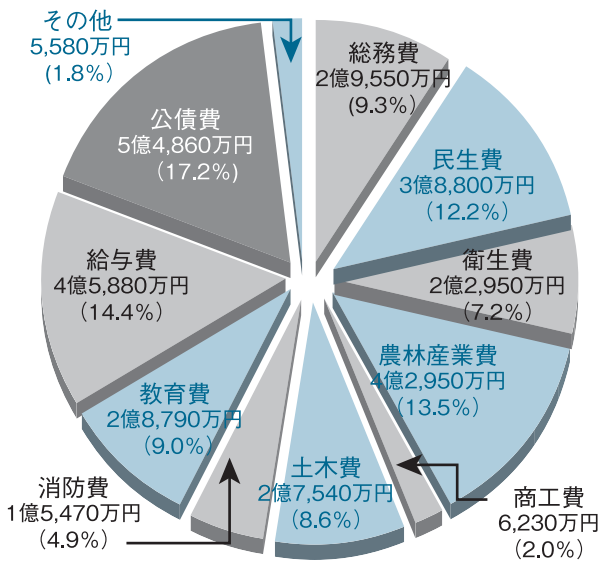
平成25年度 各会計予算額

会計名	予算額	前年度比
一般会計	31億8,600万円	9.9%減
特別会計	8億1,300万円	0.2%増
水道	3,360万円	1.2%増
農業集落排水	8,230万円	1.4%減
国民健康保険	3億2,870万円	1.9%減
診療所	9,230万円	9.4%増
介護保険	2億4,880万円	0.8%増
後期高齢者医療	2,730万円	3.2%減
合計	39億9,900万円	8.0%減

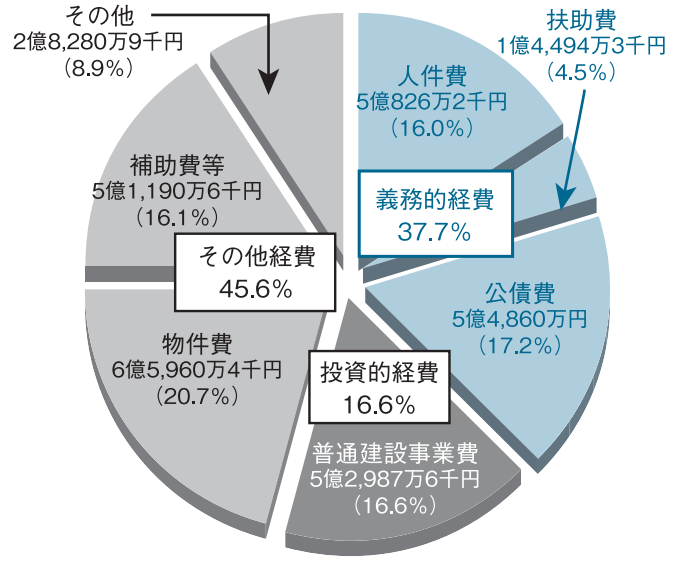
### 歳入予算



### 歳出予算



### 歳出予算 性質別内訳



## 健全財政維持 しながら自主財源の確保に今後も努力すべき

平成25年3月末の地方債(借入金)と基金(貯金)の状況(一般会計分)

平成25年3月末人口：2,512人

項目	金額	備考
地方債残高(借入金)	47億7,604万9,020円	見込み額
	190万1,293円	村民1人あたり
基金残高(貯金)	64億2,820万5,408円	見込み額
	255万8,999円	村民1人あたり

$$255万8,999円 - 190万1,293円 = 65万7,706円$$

(実質的な村民1人当たりの基金残高)





厳しく

# 25年度予算審査 特別委員会

チェック



松井広道委員長

今年の一般・特別会計予算審議は、3月12日に  
予算特別委員会（委員長 松井広道）に付託し審議しました。  
審議は村政の全般、「100項目」にわたり白熱した質疑応答が行われ、  
一般会計予算ならびに特別会計予算を3日間にわたり慎重審議しました。

**問** 婚活事業が今回の予算に計上されていませんが、なぜですか。  
**答** 2月に一泊二日の日程で婚活事業を行いました。

**問** 防寒服や長靴など冬場にも対応する必要があると思うのですが、どう考えますか。  
**答** 前向きに検討します。



新規 145万円

キリッと行動！

**問** 職員制服購入費145万円の内容を説明して下さい。  
**答** 男性職員には作業服、女性職員には制服の購入費です。ここ数年、服装がバラバラになっていたため、災害時などの対応を考慮し、統一した制服を購入することにしました。

**問** 「広報つるい」に使用する紙を「森の町内会」に加盟したものにするため増額されていますが、その内容を説明して下さい。  
**答** 鶴居村のマスコットキャラクターのデザインを広く全国に募集し、PRするものです。選定委員会を立ち上げたものにした。

**問** 新マスコットキャラクター制作委託33万円の内容を説明して下さい。  
**答** 鶴居村のマスコットキャラクターのデザインを広く全国に募集し、PRするものです。選定委員会を立ち上げたものにした。



議員諸氏 猛勉強中！

参加者は村内男性13名、管内女性15名で、その結果6組のカップルが成立しました。今後は補正予算化を視野に、今回の内容をよく検討し、より良い事業にしていきたい。

**問** 「森の町内会」に使用する紙を「森の町内会」に加盟したものにするため増額されていますが、その内容を説明して下さい。  
**答** 英語・中国語・韓国語・台湾語の4種類です。

**問** 観光パンフレット制作費300万円で、日本語版1万部、外国語版8千部作成しますが、外国語版はどのようになりますか。  
**答** 英語・中国語・韓国語・台湾語の4種類です。



新規 12万円程度

**問** 「森の町内会」は、企業が環境貢献として「問伐に寄与する紙」を購入・使用し、問伐費用の不足分を補完する新たな仕組みです。紙1枚あたり50銭の負担増となりますが、鶴居村森林組合に問伐促進費として貢献できる仕組みになっています。今後も健全な森林づくりや、環境保全に貢献していきたい。

**問** 試験栽培しているぶどう「山幸」は、少し成長が遅いが順調です。しかし、山幸をそのまま栽培しても鶴居ブランドの「山幸」として販売することが出来ないため、鶴居に自生している山幸ぶどうを醸造用ぶどうとして試験栽培するための計上です。  
**答** 試験栽培しているぶどう「山幸」は、少し成長が遅いが順調です。しかし、山幸をそのまま栽培しても鶴居ブランドの「山幸」として販売することが出来ないため、鶴居に自生している山幸ぶどうを醸造用ぶどうとして試験栽培するための計上です。

**問** 醸造用ぶどう棚購入費で25万円計上しています。醸造用ぶどうの状況を伺います。  
**答** 試験栽培しているぶどう「山幸」は、少し成長が遅いが順調です。しかし、山幸をそのまま栽培しても鶴居ブランドの「山幸」として販売することが出来ないため、鶴居に自生している山幸ぶどうを醸造用ぶどうとして試験栽培するための計上です。

**問** 役場と教育委員会の電話システムは一体化しているので、両方で53台の電話機と、電話交換機の購入費です。今回は電話交換機の経年劣化に対応したものです。  
**答** 役場と教育委員会の電話システムは一体化しているので、両方で53台の電話機と、電話交換機の購入費です。今回は電話交換機の経年劣化に対応したものです。



新規 357万円

より住民の声が届きやすく

**問** 役場庁舎電話機器購入費357万円の内容を説明して下さい。  
**答** 役場と教育委員会の電話システムは一体化しているので、両方で53台の電話機と、電話交換機の購入費です。今回は電話交換機の経年劣化に対応したものです。



【問】ごみ分別周知イベント開催委託13万円の内容を説明して下さい。

それは可燃ですか？不燃ですか？



新規 13万円

【答】昨年、ごみ収集車一台分の不燃ごみを調べたところ、その7割が燃えるごみでした。村のごみ処分場の延命化とごみの減量化にむけて広くごみ処理の現状を知ってもらおう事業です。ごみがどのように処分されているのか見学する場を設けたり、その内容をDVD化したり、団体への出前講座などを考えています。

【答】現状では開きがありません。村民の平等性を保つために、使用状況などを考慮しながら検討します。



合併浄化槽

【問】3歳未満の子供を預ける保育ママ制度運営委託300万円の内容を説明して下さい。

【答】今までのファミリーサポート制度では、子供一人当たり月額で、村が3万3千円、保護者が4万7千円の7万円でしたが、25年9月から道が3万4千8百円、村が2万2千4百円、保護者が2万2千8百円の8万円となる予定をしています。大幅に保護者の負担が軽減される予定です。

【問】合併浄化槽を利用されている家庭の負担が増え、年間使用料が、7人槽で4万9千円ほどになります。一方、農業集落排水利用者は年間3万円で、かなり開きがあると思います。村の考え方を伺います。

【問】保育所の新築・改築について検討されている内容を伺います。また近年、特別な配慮が必要な入園児が増えていて、その子達がクルダウンする部屋が確保できていない状況にあるようですが、どのような状況なのか伺います。



いざ 本番!

【答】平成29年度に保育所の新築・改築の計画を考えています。その際に特別な配慮が必要な子達がクルダウンできるスペースを確保したいと考えています。平成25年度の園児数は72名を予定していて、そのうち、特別な配慮が必要な子達は12名から14名です。

【問】釧路管内には一ヶ所しかない釧路市「と畜場」の廃止が決まったと聞きました。村の対応を伺います。

【答】釧路市新野にある「と畜場」が使用に耐えない状態にあり、来年春で閉鎖することへの対応ですが、重要な施設なので根室管内と一緒に、新たな施設建設にむかう方向となっています。また、具体的なことは決まっています。



老朽化した「と畜場」

【問】青少年教育について教育委員会の考え方を伺います。

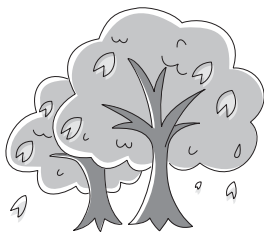
【答】本村だけでなく他の自治体でも、青年・成年教育については課題を抱えている状態です。非常に多様化された時代背景もあり、具体的な施策にはいたっていませんが、今後も十分に検討していきます。

【問】下幌呂小学校校舎増築設計委託で570万円、グランド拡張整備調査設計委託で170万円計上されています。その経緯を伺います。

【答】現状で、特別教室が3部屋ほど不足している状態であり、グランドも手狭な状態となっています。その解消のための計上です。

【問】景観形成用桜苗木購入費19万円の内容を説明して下さい。

【答】地域で桜並木を整備しているところが数地区あり、その要望に応える補植用の桜苗木の購入費です。



新規 19万円

そろそろ花見のシーズン





# 3月定例会

平成25年3月定例会が3月8日招集され会期を7日間とし、議長より諸般報告、村長・教育長から行政・教育報告がなされ、7名の議員より15件の通告があり一般質問が行われました。議案審議については、36件と意見書4件が全て原案通り可決決定しました。



私より諸般報告をします。

2月14日北海道町村議会議長会理事会在開催され、平成25年度事業計画ならびに前年度同額の6300万円の歳入歳出予算等が承認されました。

次に、釧路町村議会議長会2月定例会について報告します。

平成25年度事業計画および歳入歳出予算は、前年通りの事業内容と歳入歳出予算323万1千円とする事で承認されました。

管内議員研修は、10月25日厚岸町で開催することとし、次回5月定例会を5月17日釧路町にて開催することになりました。

## 釧路公立大学議会議案

### 12月定例会

松井(洋)議員より、「平成23年度事務組合会計決算の件」・「平成24年度事務組合会計補正予算の件」・「公平委員会委員(佐藤 優氏)の同意を求める件」について承認された報告がありました。

## 第1回釧路広域連合議会議案

### 1月定例会

東議員より、「平成25年度一般会計予算の件」・「廃棄物処理施設技術管理者配置に関する条例」・「広域計画変更の件」・「平成24年度一般会計補正予算の件」について承認された報告がありました。

## 第1回釧路北部消防議会議案

### 定例会

佐藤議員より、「平成24年度釧路北部消防事務組合一

般会計補正予算の件」・「平成25年度釧路北部消防事務組合一般会計予算の件」について原案通り可決決定された報告がありました。



1月以降の行政報告をします

### 1. 除雪費の専決補正

除雪経費が例年を上回る予算執行となっている状況から、700万円を増額する補正予算措置を講じました。

### 2. 太陽光発電施設について

愛媛県西条市の半導体企

業(株)アドバンテックとの間で、中幌呂下地区に所  
有する村有地2・5haを賃  
貸借契約の予定をしていま  
す。

### 3. 新規採用職員について

本年4月1日付けでの新規採用職員については、退職職員の補充などを考慮し、事務職4名・保健師1名の採用を予定しています。

### 4. プレミアム商品券発行事業について

プレミアム分を含め2100万円のところ、利用総額は約2090万円の99・58%の利用率となりました。

### 5. 釧路開発期成会の中央陳情

政権交代などにもなる政治状況の変化に対応するため、あらためて蝦名期成会会長をはじめ、管内首長・議会議長による中央陳情に行ってきた。



期待絶大 新入職員





# 平成25年度

## 村政執行方針

### 第1点は「ひとを育てるむらづくり」です。

鶴居村が持続的に発展していくためには、地域社会を支える「ひとづくり」がもつとも重要であり、次世代を担う世代の育成が何より大切と考えます。それで今秋から保護者の仕事と子育ての両立を支援し、3歳未満児の恒常的な子育て支援をサポートする家庭福祉員(保育ママ)制度を開始し健やかに成長できる環境を整え、親が安心して子育てができる村を創出します。

### 第3点は「暮らしの安らぎを高めるむらづくり」です。

灰塚邦嘉(くによし)所長の後任として、中陣(なかじん)純一医師が継続着任の予定となっていて、引き続き口腔医療を継続します。本年は「障害者自立支援法」を引き継ぐ後継法として「障害者総合支援法」が4月から施行され、各種サービスが開始になります。

### 第2点は「たくましい産業とにぎわいのむらづくり」です。

基幹産業である酪農畜産や林業・商業を取り巻く国内外の状況はさらに厳しい状況となっております。しかし、意欲ある民間事業者などの新規事業や新規分野(イノベーション)への起業化支援制度を継続し、引き続き産業の振興と雇用促進を図ります。

### 第4点目は「ともに考え、行動するむらづくり」です。

多様な人々が地域にとけこんで暮すためにノーマライゼーション(社会的公平)を積極的に進めます。庁舎内の暖房機器などが

更新の時期をむかえているので、役場庁舎および総合センターなどの熱源として、再生可能なエネルギー導入の可能性や、木質バイオマスなどの利活用を図るための調査研究を引き続き行います。

最後に少子高齢化の対応や厳しい経済情勢が続く中、安心・安全な村民生活を確保するとともに、将来を担う子ども達に夢と希望を与え、誇りと魅力ある鶴居村を実現するため努力いたしますので、御理解と御協力をお願いいたします。



いま注目のエネルギー

## 平成25年度 教育執行方針

### ◎学校教育

一、「生きる力」「たくましく生き抜く力」の元となる「総合力」をはぐくむための教育活動の推進。

二、学校・地域の特徴・良さを存分に活用した鶴居村ならではの教育活動の推進。  
三、充実した教育活動を推進していくための前提となる「安全・安心」を最優先とする教育環境の整備促進。

### ◎生涯学習

一、生涯学習を円滑に推進するための体制づくり。  
二、生涯学習を推進するための各種事業の円滑なる推進。

### ◎社会教育

一、乳幼児教育は「ひよこ会」の実施を週二回継続します。  
二、少年教育は、アドベンチャークラブや演劇・小劇場の鑑賞、鶴育協が主催する「夏・冬の集い」の育成に努めます。

三、社会体育は、少年団活動や青年期・成人体育・寿大学など各種事業の推進に努めます。  
教育委員会は、教育行政に対する住民の皆様の期待に応えられるように、知恵と英知を結集し、業務執行いたします。



## 3月定例会 議案審議

### 条例制定

- 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定
- 指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定
- 新型インフルエンザ等対策本部条例の制定
- 廃棄物処理施設に係る廃棄物処理施設技術管理者配置に関する条例の制定
- 道路構造の技術的基準等を定める条例の制定
- 高齢者、障害者等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例の制定
- 村営住宅整備基準条例の制定
- 水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の制定

### 質 疑

- 問 専決処分で除雪費が増額されているのは？
- 答 十分な補正額で適切な除雪対応をするためです。
- 問 介護サービス関連の実際に移譲される権限は？
- 答 サービス業者指定のみです。
- 問 新型インフル対策本部の構成は？
- 答 主に住民課（医師・看護師含む）と広報担当者
- 問 国保税・後期高齢者医療保険料の徴収業務の負担増は？
- 答 システム変更はなく問題ないです。
- 問 バリアフリー法対応で村道の歩道設置の影響は？
- 答 対象事案はないと想定しています。
- 問 村住設置基準設定で建設コストに影響は？
- 答 現状と同様で影響ありません。
- 問 村道認定で未舗装道路への除雪・維持管理は？
- 答 除雪は支障なく、維持は夏季間に砂利敷設などで対応します。

### 条例改正

- 重度心身障害者及び母子家庭等年金支給条例の改正
- 障害程度区分等審査会の委員の定数等を定める条例の改正
- 障害者支援サービス事業条例の改正
- 敬老年金支給条例の改正
- 介護サービス利用者負担額の助成に関する条例の改正
- 国民健康保険税条例の改正
- 後期高齢者医療に関する条例の改正
- 村有住宅設置及び管理に関する条例の改正
- 特定公共賃貸住宅管理条例の改正

### 専決処分（緊急により議会の議決・決定前に村長が決定した議案）

- 平成24年度一般会計補正予算 除雪費700万円の追加補正です。



フル稼働。お疲れさま！

### 変 更

- し尿の処理に係る委託事務の変更に関する協議  
鉦路市と白糠町、鉦路町及び鶴居村のし尿の処理の事務委託の規約改正です。



## 3月定例会 議案審議

### 補正予算

- 平成24年度一般会計  
歳入歳出それぞれ1億5,953万4千円を追加し、総額47億3,338万4千円とする。
- 平成24年度水道特別会計  
歳入歳出それぞれ168万6千円を減額し、総額3,287万9千円とする。
- 平成24年度農業集落排水事業特別会計  
歳入歳出それぞれ202万6千円を減額し、総額8,147万4千円とする。
- 平成24年度国民健康保険特別会計  
歳入歳出それぞれ655万7千円を追加し、総額3億6,049万6千円とする。
- 平成24年度診療所特別会計  
歳入歳出それぞれ286万1千円を減額し、総額8,229万5千円とする。
- 平成24年度介護保険特別会計  
歳入歳出それぞれ2,896万9千円を減額し、総額2億2,768万1千円とする。
- 平成24年度後期高齢者医療特別会計  
歳入歳出それぞれ24万3千円を減額し、総額2,782万9千円とする。

### 平成25年度予算（P2～P7参照）

### 発議案（議員から提案する議案）

- 村議会委員会条例の改正（P20参照）
- 村議会会議規則の改正（P20参照）
- 意見書の提出4件（P12参照）

### 認定

- 村道路線の認定 10路線が村道に認定されました。



増えた村道、通りやすくなりました

## 3月臨時会の議案審議

平成25年3月22日開催された、臨時会の議案審議内容は「工事請負契約の締結」です。3件とも「地域限定型一般競争入札」で行われました。

1. 鶴居小学校校舎改築建設主体工事  
契約の相手方 村井（釧路市）・佐々木（鶴居村）  
特定建設工事共同企業体  
契約金額 4億9,035万円
2. 鶴居小学校校舎改築電気設備工事  
契約の相手方 北電工業株式会社（釧路市）  
契約金額 6,247万5千円
3. 鶴居小学校校舎改築機械設備工事  
契約の相手方 太平洋設備株式会社（釧路市）  
契約金額 7,959万円



子ども達が完成を待ってます





# 意見書

## ●TPP交渉参加断固阻止に関する意見書

TPPは関税をすべて撤廃することが原則であり、我が国の農林水産業や農山漁村にこれまでにない壊滅的な打撃を与え、わが国の食料自給率を低下させ、地域経済・社会の崩壊を招く恐れがあります。

また、TPPは一次産業のみならず、医療、公共事業、金融、食の安全、雇用など様々な分野に影響が及ぶ可能性があり、国民生活の根幹にも関わる極めて重大な問題であります。

つきましては、TPP交渉参加断固阻止に関して、下記のとおり要請いたします。

- 1、TPP交渉への不参加
- 2、多様な農業の共存を明確に位置付けた貿易ルールの確立



反対！絶対 反対！

## ●平成25年度地方財政対策に関する意見書

平成25年度地方財政対策は、一般財源総額が前年と同水準で確保されている。しかしながら、三位一体改革によって市町村は地域格差が拡大し、厳しい財政運営を強いられ将来に大きな不安を抱いている。

このような状況において、国家公務員の給与削減措置に準じて地方公務員の給与削減を求めるために地方交付税を削減したことは、その根拠が極めて不透明なうえに、国に先駆けて給与の独自削減や定数削減を行っていた地方の努力を踏みにじる極めて不合理で不公平な政策である。

特に、地方との十分な協議を経ないまま、国の政策を地方に一方的に押し付けるために、地方交付税を削減したことは非常に理不尽な措置で、極めて遺憾であると言わざるを得ない。

よって、国は今回のような措置を二度と繰り返さないように強く要望する。

## ●安心できる介護制度の実現を求める意見書

「家族を介護負担から解放する」をうたい文句として介護保険制度が始まって以来、制度改正がなされるたびに給付が削減され、使いづらい制度となっています。

2012年4月の介護報酬改定では、サービスの低下や事業所の経営悪化、ヘルパーの収入減など様々な問題が表面化し、利用者の自立を妨げるものとなっています。家族の介護負担もいっこうに軽減されないことなどから、下記の事項について要望します。

- 1、介護保険制度を改善し介護報酬を引き上げるとともに、介護保険料・利用料を国の責任で軽減すること。
- 2、訪問ヘルパーによる生活援助の時間短縮と上限引き下げを見直し、必要なサービスを受けられるよう改めること。
- 3、全額国費負担による介護職員の賃金引き上げを行うこと。



介護は、私達も通る道です

## ●泊原発の再稼働に対する意見書

泊原発においては、「耐震安全性評価」で保安院は「原子炉など重要施設の安全性に問題はない」という北電の解析結果を了承しましたが、「泊原発で想定される最大の揺れの大きさ(基準値地震動)」そのものが妥当かどうか再検討を求めています。

よって、政府及び北海道知事には泊原発の再稼働について下記の事項を強く要望します。

- 1、原子力規制委員会による福島第一原発事故を踏まえた新たな安全基準による安全性が確認されるまで、泊原発の再稼働を容認しないこと。また、再稼働の可否にあたっては道民の意向を尊重すること。

# 一般質問

## 村政のここが聞きたい

7人の議員が14項目の質問

各議員が住民の代表として、村の考え方や新規政策を提言する議員活動。

### 新規就農対策で基幹産業の活性化を？

#### 新規就農・担い手対策を検討する組織を持ちたい



担い手確保の組織は持っては  
いません。

現在、後継者難あるいは諸  
事情により離農が相次いでい  
ますが、今後の本村の基幹産  
業である酪農の将来を考えた  
時、何らかの対策を持って対  
処する必要があります。この点について理事者の  
考えを伺います。

#### 武藤議員

そのことは、今まで検討課  
題としてきているところす  
が、地域・JAも含めての組  
織を持ちながら対処して行か  
なければならぬと考えてい  
ますので、今後十分に検討さ  
せていただきたい。

①新規就農・担い手確保など  
について協議する機関が必要  
と思うが？

②新規就農者の住居の確保で  
すが、理想はやはり、仮に離  
農されたとすれば、その後に入  
られるのが一番コストが掛  
からない経営が実現するかと  
思います。

難しいところですが、住む  
ところがなければ生活が確保  
できない、経営にも当たれな  
いわけですので、今後の検討  
課題として十分認識しながら  
対応していきたい。

#### 大石村長

①現在、村独自の新規就農・

### 学校給食のアレルギー対策は？

#### 学校給食運営委員会で万全を期す

#### 武藤議員

昨年12月、東京都の小学校  
で女子児童が給食を食べたあ  
とにアレルギーの症状をまし、  
不幸にも亡くなるという痛ま  
しい事故がありました。

学校給食運営委員会が調査  
している「鶴居村学校給食食  
物アレルギーに関する調査」  
を把握、分析をしました。

#### 国安教育長

今、徹底が求められている  
食物アレルギー対策ですが、  
実態は各自自治体・学校に任さ  
れているのが現状です。

そして学校と給食室で確認・  
連携し、除去するもの、代替  
ができるもの、カットするも  
のに分けて対応しています。

保護者からは命に関わるこ  
とであり、統一したルールが  
必要ではないかとの声が大き  
くなっています。本村の対応  
について伺います。

さらに個々に細かく分析し、  
対応しなければならぬこと  
については、翌月の給食献立  
表を家庭に配布する際にチェッ  
クし、家庭と連絡を取り合い、  
対応しています。



命にも関わる  
アレルギー対策を！

今後も栄養教諭を中心に、  
それぞれの給食室と学校で連  
携を密にし、学校内の確認や  
共通認識、意思疎通を図りな  
がら給食運営をし、一人ひと  
りの児童生徒に配慮した体制  
に努めていきたい。



道東自動車道の供用開始における取組みは？

観光振興ビジョンを策定し取り入れる予定



佐藤議員

2011年10月29日、道東自動車道占冠IC〜夕張IC間が開通して道央圏の人や車両の流れが大幅に増え、その経済効果については十勝圏に勢いよく流れ込んでいます。

今後はいつの時期に釧根地域に人・物の流れが繋がるかということで、管内各地でもすでに集・誘客に向けて行動計画を作成して活動を行っている自治体もあります。

今後の道東自動車道阿寒ICの供用開始時期と、本

村における取組について伺います。

大石村長

現時点においては、当初の計画どおり、白糠ICまでが平成26年供用開始、阿寒ICまでが平成27年度供用開始予定と聞いています。これら区間の供用開始にともなう、本村の取組についてですが、今後道東圏が一体となった、観光客の集客・誘客に取り組んでいきたいと考えています。

また、村では25年度「鶴居村観光振興ビジョン策定事業」事前調査委託費を計上して、この中でも村観光の振興策について費用対効果の検証を図り、今後の活動に取り入れる予定です。

音羽橋のWebカメラの設置は？

次年度検討します

佐藤議員

タンチョウ撮影シーズンも終盤を向かえましたが、今シーズンも世界中から多くのカメラマンが来村されました。今や、タンチョウねぐら撮影の世界的メッカである雪裡川はカメラマンあこがれの地でもあります。ついでに冬期間10月〜翌年3月末までの期間限定で、音羽橋を望む「望鶴峡（ぼつかくきょう）」からネット配信できる、Webカメラの設置を提案しますが、見解を伺います。

大石村長

村としても、音羽橋から望む雪裡川のタンチョウねぐらは世界的にも貴重な観光資源と認識しています。Webカメラによる効果は、現地の状況がリアルタイムで入手できることと考えますが、観光に結びつく効果などを検証したいと考え、「観光振興ビジョン」の中での設置にむけた判断をしたいと考えています。

太陽光発電施設の村内への経済効果は？

おおよそ数十万円

佐藤議員

連日のように報道される

メガソーラー発電については、売電価格について、かなり不安定になってきていること、地元雇用を生み出さないこと



情報発信には必要では？

で、管内自治体でも積極的な誘致活動から、慎重な姿勢に転換する自治体もあると聞いています。当村でも幌呂の村有地に設置されるソーラー事業者についての、村内経済効果について伺います。

大石村長

村内でも用地買収の事例があるほか、賃貸借を前提とした村有地での太陽光発電施設の建設準備も進められています。

本施設の経済効果につきましても、土地賃借料および固定資産税が見込まれます。正確な金額は算出できませんが、おおよそ年間数十万円と見込んでいます。



## 鶴居村の字(あざ)名を簡素化すべきでは？

## 膨大な事務作業と費用が発生し実施は困難！



## 松井広議員

鶴居村の住所は、正式な字名で言うと長くて分かりづらいと良く聞きます。

現状では原野、線、番と併記され長くなっています。これを一般的に使われている地区名と組み合わせたものに変更するなど、分かりやすい字名に簡素化すべきではないかと思いますが、村の対応を伺います。

## 大石村長

本村では、昭和63年に鶴居および幌呂の市街地を字名・地番改正を行いました。

今回の市街地域以外の字名地番の改正については、地番改正台帳調書の作成、図面の修正、戸籍、住民票および税務データの更新作業など膨大な事務作業と費用が発生します。

事務作業、手続きには約4〜5年程度の期間を要し、専従職員を配置、住民意見の聴取や関係機関との調整を行いつつながら作業を進めていきますが、市街地とそれ以外の地域を面積と筆数で比較しますと、面積で約133倍、筆数は約22倍となります。

また、字名改正に要する費用は、改正台帳および図面の修正に約5000万円、また、戸籍などの住民データ修正に約8000万円、合わせて約1億3000万円

円程度の多額の費用が発生することが想定されます。このような状況から今後、村が取り組むべき事務事業と比較検討する時、費用対効果ならびに優先順位は低く、現時点において字名や地番の改正の実施は困難と考えます。

## 問 次の字名は、どの地区名でしょうか。

- 1 鶴居原野北7線東
- 2 幌呂原野北5線西
- 3 鶴居原野北20線西
- 4 幌呂原野第1基線北
- 5 鶴居原野北31線西
- 6 幌呂原野第2基線

## 地区名

- ア 支幌呂
- イ 新幌呂
- ウ 上幌呂
- エ 茂雪裡
- オ 支雪裡
- カ 下雪裡

答えは下段にあります。



## 未利用農地の調査・対応は？

## 該当農地はないが農業委員会と連携して対応

## 松井広議員

村内には草地造成などで開発しながら、急傾斜や機械の大型化が進み、肥培管理されていないなどの土地が各地域に点在しています。

これらの土地をどのようにに活用していくのか。また、荒地を作らないためにも、村でどの位の面積があるのか、現状を調査すべきだと思います。

また、その調査結果をもとに、積極的に対応すべきだと思いますが、村の対応を伺います。

## 大石村長

未利用農地の調査とその後の対応についての行政側の対応としては、農業委員会が年に1度、区域内にあ

る農地の利用状況の調査を行います。これは「遊休農地の発見」のために行われるもので、該当があった場合は、必要に応じた指導をしなければなりません。

農業委員会は、従前より地区選出委員が、農地の利用状況を調査していて、調査結果の報告を随時求めています。

現在、指導対象に該当する農地はないものとしているが、現状では不在地主の農地なども見られるので、村としては、今後も農協や地域、村民との情報共有を図りながら、農地の適正な利用に向け農業委員会と連携して対応したい。

- 1-カ
- 2-イ
- 3-エ
- 4-ア
- 5-オ
- 6-ウ



ロタウイルス・ワクチンの  
予防接種費用の助成は？

国、関係指導機関の対応を  
見極めながら、前向きに検討！



松井洋議員

平成23年の12月定例会で  
吉田議員からロタウイルス・  
ワクチン接種に対する村の  
対応についての質問があり  
ましたが再度伺います。

ロタウイルスは乳幼児に  
多く発症する感染性胃腸炎  
のひとつで5歳までにほと  
んどすべての乳幼児がこの  
ウイルスに感染すると言わ  
れています。

感染すると激しい下痢や  
嘔吐など重症化しやすく、  
場合によっては脱水症状で  
入院することになります。  
また、まれに脳炎を発症す  
ることもあり、死亡例も日

本では年間10人くらいあり  
ます。

現在、ロタウイルス・ワ  
クチンによる予防接種は任  
意接種で、およそ3万円弱  
の高額な費用が必要になり  
ます。その費用を村が助成  
できないか伺います。

大石村長

ロタウイルス胃腸炎の予  
防接種助成についてですが、  
現在、2種類のワクチンが  
認可されています。1回分  
のワクチンを生後6週から  
開始し4週間以上の間隔を  
置いて、生後24週または32  
週までの間に2回または3  
回経口投与します。

本ワクチンは任意のワク  
チンであり、保護者が接種  
医との相談によって判断し  
接種する仕組みになってい  
ます。

現在、釧路管内で助成し  
ている市町村はありません  
が、道内では斜里町、猿払  
村、知内町、幌加内町、東  
神楽町などの町村で接種費  
用の全額または一部を助成  
していると聞いています。

本ワクチンについては今  
後、厚生科学審議会感染症  
分科会予防接種部会で専門  
家による作業チームを設置  
し、疾患の特性、ワクチン  
の導入により期待される効  
果、ワクチン接種による副  
反応など安全性についてよ  
り深く検討することになっ  
ています。

このような状況から本村  
としては、厚生科学審議会  
予防接種部会の報告や国、  
関係指導機関からの接種推  
進の指導などの対応を見極  
めながら、前向きに検討し  
たいと考えています。

ロタワクチン

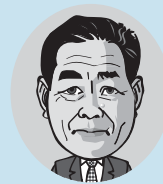


傍聴席から

今回は5名の方が  
傍聴に来ていただきました。

議会を傍聴して

久保田 武男



村長の平成25年度村  
政執行方針」と、教育  
長の「教育行政執行方  
針」を中心にした3月  
定例会を傍聴しました。

質問者は7名、鋭い質問もあり終始緊  
張した雰囲気であった。質疑がされていま  
した。質問事項は前もって提出され、そ  
れを幹部職員が精査し答弁原案を作成し  
ます。今回は、質問件数が多く難題もあ  
り限られた時間の中で答弁書をまとめた  
職員は大変な苦勞をしたものと思います。  
もちろん、議員は前もって、しっかり調  
査の上、質問するが職員が苦勞するくら  
いの質問があることは好ましくことです。  
なぜなら職員の資質が向上し、住民への  
サービス向上に結びついていくからです。  
したがって、議員は住民の声の代弁者  
として多くの課題を村長に提言すること  
が充実した村政の原点になるものと思  
います。

特に昨今の取り巻く環境は、PPPの  
参加問題など厳しい情勢にあり、今後、  
本村の酪農をどう守り、また、観光事業  
をどう発展させていくかなど、議場で議  
論を深めていくことを願っています。

## TPP交渉に参加への対応は？

### 参加阻止に向け関係機関団体と連携



#### 及川議員

先の日米首脳会議で共同

声明が発表され、日本がTPP（環太平洋パートナーシップ）交渉に参加する意向を表明しました。

これは「聖域なき関税撤廃」が前提でないことが明確になったため、交渉参加に向けての障壁はなくなつたとの認識から来ています。

しかしTPP交渉は関税の撤廃だけではなく、9カ国で締結された「TPPのガイドライン」では、様々な案件が提示されています。その中の一つ一つが、国の

あり方に大きく係わるものです。特に地方では大きな影響があると憂慮されています。このような状況の中で、村の考え、対応を伺います。

#### 大石村長

TPP交渉参加の影響をどのように考えるかについてですが、まず、TPPは例外なき関税撤廃を原則とする包括的な協定であり、物品貿易は全品目について関税の即時撤廃か、10年以内の段階的な撤廃が原則とされています。

対象分野は非関税障壁を含めた包括的な協定であり、単に農業分野や経済分野に限った問題ではありません。更に、人の移動など非関税障壁の交渉によっては国

そのものが変わることにもつながります。

つまり、TPPは関税問題だけで議論されるべきものではないと考えています。また、共同宣言は、我が国にとつては不透明感の強い宣言であると考えます。

今後厳しい事態が想定されるにも関わらず、十分な議論や対策も尽くされないままに参加に意欲をしめすことは酪農畜産を基幹産業とする本村としては誠に遺憾であり、今後も参加阻止に向け関係団体との連携を密にしなが、歩調を合わせた対応をしたいと考えています。



基幹産業を守ろう！

## 職員の給与削減は？

### 十分考慮した上で判断したい

#### 及川議員

政府は国家公務員同様に、地方公務員の給与削減を要請し、新年度予算案で地方の人員費に使える地方交付税を削減する姿勢に出ています。

本来、地方公務員給与の多くは地方の一般財源によって賄われ、地方自治体として決定すべきものです。

また、ラスパイレス（注）指数についても、総人件費、人員削減や指数算定根拠が不明確などの批判があります。

このような中で、デフレ脱却の景気対策にも逆行し、また、円安の影響で生活物資の値上がり予想される中で、村の対応を伺います。

#### 大石村長

本村の職員給与は、基本的に人事院勧告に基づく内容で実施し、現段階で国が実施していない55歳以上の職員の昇給停止の措置についても人事院勧告どおりに実施しています。

また、本年度は5名を新規採用する予定ですが、それでも職員数は57名で、鶴居村定員適正化計画の目標を上回る削減を実施しています。このような状況下での国からの給与削減の要請は、慎重な判断を要すると考えています。

現段階では、削減措置実施の有無を決定していませんが、今後、国の動向や都道府県、他市町村の状況なども十分考慮した上で判断したいと考えています。

（注）国と地方の公務員の給与を比較した指数





観光振興ビジョンの具体策は？

具体的な観光振興の戦略や戦術の策定します



大津議員

行政執行方針の観光振興

の中で、今年度、ハード・ソフト両面を含めた今後の振興策を調査検討し、『観光振興ビジョン』の策定に着手することですが、本村の商工・観光そしてまちの活性化の起爆剤になるような、『観光振興ビジョン』を策定していただきたいと願います。

コンサルを中心にハード・ソフト両面を含め今後の振興策を調査検討するわけですが、この観光振興ビジョンを策定するにいたった経

緯と、現在考えているビジョンの内容、そしてビジョンの策定については、関係機関との協議会を立ち上げて調査検討されるのか、考えを伺います。

大石村長

本村の観光を時代の変化に対応させ、既存の観光施設の充実や観光PRの方策、場合によっては新たな施設整備の検討も含め、ハード・ソフト両面の様々な観点から調査研究を進めていきます。今、交流人口を取り込む、観光戦略が必要であり、25年度は現状分析などの事前調査を行います。

協議会については、平成26年度に村の問題点の抽出や課題の整理を行う段階で、ビジョンの策定委員会を立

ち上げ、知識経験者の招へいや関係機関などに委員の委嘱をお願いし、さらに、策定委員会には村から諮問する「観光振興ビジョン」の答申や具体的な観光振興の戦略や戦術の策定、事業スケジュールの作成までお願いしたいと考えています。



観光振興は力強い味方に！

職員定数について

機構改革後に検討します

大津議員

大石村長は10月1日、第一次機構改革を行うとのことですが、現在職員数につ

いては、自立プランの57名を基本としています。しかし、地方分権一括法により事務事業量が増しているなか、機構改革を行ううえで、適正な職員数であるのか。また、自立プラン・職員定数条例との整合性を考え、今回の機構改革が、住民サービスの低下に繋がらないことを第一に、検討する考えがあるのか伺います。

大石村長

機構改革に伴う役場組織の在り方については、現在の役場内で検討を重ねている最中です。

自立プラン作成時と比較して、現在、村が実施している行政サービスはより広範化し、権限移譲などにより職員個々の事務量も年々増加しています。

今後は、行政ノウハウの円滑な継承も視野にいたれた長期的視点に立った計画的な職員の採用を行いたいと

考えてます。

鶴居村職員定数条例では、平成7年に定数を66名とする改正を行って以来、現在まで見直しは行っていない。

この先、年金支給開始年齢が年次的に65歳に引き上げられること（報酬比例部分）に伴う職員の再任用の問題について、仮に職員を再任用し年金支給開始まで雇用する場合に、その職員を定数内とするか否かにより、定数の考え方も変わりますので、それらの取り扱いや機構改革後の組織体系が確立したのちに所要の見直しを検討したいと考えています。

より利便性の高い生活交通路線の確保は？

村の重要課題として調査研究を行いたい



吉田議員

鶴居村の公共交通機関は、民間バス会社が唯一の交通機関として運行しています。が、利用状況は減少傾向で、厳しい状況にあります。

しかし住民などの交通機関として確保が必要です。ニセコ町では予約バスを導入し、利用者の予約に基づき経路や時刻を決めて走る「デマンドバス」の運行を開始しました。利用者は乗車予定1週間前から当日30分前までに乗降場所と日時を電話で予約します。観光客など誰でも利用できる「ド

ア・ツウ・ドアサービス」です。

高齢者が増加傾向にあり、車の運転に不安を持ちながらも運転せざるをえない現状ですが、より利便性の高い公共交通機関の再検討が必要と思いますが、村長の考えを伺います。

大石村長

現在、民間バス会社への支援を行い、補助対象路線や単独補助路線を運行しています。民間路線バスの利用者は低迷するものの生活路線バスとして果たす役割は大きいものがあり、村を訪れる観光客などの利便性を確保する観点からも、現在の路線を維持していくことが重要です。

質問の「デマンドバス」



ニセコ デマンドバス

ですが大きく2つの形態があり、「迂回型路線バス」と「フルデマンドバス」です。本村で実施している「福祉バス」はこれらの中間的な形態となっています。

今後は、ますます進む高齢化に対応するため、現在のバス路線や福祉バスは当然維持しつつ、自宅などからその路線までの接続や村内での移動手段についてはより住民が利用しやすいものとするため必要であると考えますので、今後における村の重要課題として他市町村の事例や事業実施上の課題などについて、職員を派遣し調査研究を行いたい

あいさつの啓発活動を村全体に推進しては？

啓発活動を推し進めます

吉田議員

「社会を明るくする運動」コンテストにおいて、幌呂中2年の吉田佳太君の「笑顔のあいさつ」という作文が、東北北海道地区で2位にあたる優秀賞に輝きました。内容は、あいさつが苦手だった佳太君が、大きな声で相手の顔を見てあいさつが出来るようになり、「コミュニケーション」が取れ交流が深まる過程が書かれています。

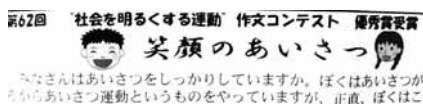
最後に、「あいさつは人と人を結び、一人一人があいさつをすることで、社会は明るくなると僕はそう思っています」とまとめていました。

笑顔であいさつを交流会える明るい村づくりを推進する事が必要と思えますが、教育長の考えを伺います。

国安教育長

この様な心が洗われる内容の作文を書き、表現出来るということは、健やかに伸びやかに成長していることの証であり、充実した学校生活を送っていることが伝わって来ます。

教育委員会としても、「美しいむらづくり」の根幹となる「明るい村づくり」に寄与していくものと考えますし、生涯学習の観点からも、学校教育、社会教育の場面や機会を問わず、啓発活動を推し進めます。



ありがとうございます こんにちは 心を豊かに！



# 活動報告はしっかりと

## 委員会・全員協議会活動報告

### ●議会改革「議会意見交換会」開催決定

- ・住民ニーズや村政の課題などに対する意見などを直接聴取し、住民と意見交換する具体的な機会として《意見交換会》を開催します。
- ・内容については、各常任委員会単位で行い開催テーマは所管事務に係わるものとする。

### ●議会の会議規則を改正しました

- ・常任委員の選任に関して「少なくとも一の常任委員」へ変更
- ・常任委員・議会運営委員の選任方法を制定
- ・特別委員会の選任方法および期間を制定
- ・公聴会の開催および会議においての参考人の出席に関する規則を制定

## 総務常任委員会

1月29日に村内各学校の経営状況調査を国安教育長、中尾管理課長および新木係長に同行していただき実施しました。村内各小中学校を訪問し、それぞれの学校の経営方針ならびに特徴的な指導方法などについて聞き取り調査を行いました。

### ① 幌呂小学校

「地域とともに歩む開かれた学校」を掲げ、教職員が一丸となり地域住民とともに子ども達を育てる特徴が出ていました。また、学力向上へは小規模校ならではの取り組みも実践されていました。



下幌呂小学校

### ② 幌呂中学校

家庭学習の指導に重点を置き、長期休み期間の学習の在り方にも配慮がされていました。また、伝統的にスポーツの指導にも熱心に取り組まれています。

### ③ 下幌呂小学校

従来から取り組んでいる業間運動(週3回20分程度の運動)は確実に子ども達の体力向上に繋がっています。体験学習などのカリキュラムが多かったため、若干の見直しを進めています。

### ④ 鶴居中学校

「生きる力を育む教育課程」、「確かな学級・教科経営基盤」、「つながりを大切とする」の3点を重点とした学校づくりをしています。

### ⑤ 鶴居小学校

「コミュニケーション能力の育成」、「個に応じた指導の充実・生活学習習慣の見直し」、「体力づくり・食育指導」の3点を学校教育目標として取り組んでいます。



鶴居中学校



## 産業常任委員会

1月29日に鶴居村観光協会服部正人事務局長より、平成25年度鶴居村観協会事業計画などの説明を受け、鶴居村の観光振興策について、行政側と協力した新たな戦略などが必要ではないか調査を行いました。

### ① 醸造用ブドウ栽培

昨年の生育不良の原因が土壌や管理技術であることから民間事業者に生育を委託し、栽培品種に関しては、池田町からの製造承諾が得られるか不透明なことから検討が必要との意見が出ました。

### ② 情報の一元化

鶴居村の観光情報発信と「日本で最も美しい村」を所管するのは別の担当課であり、その事業の情報が共有されているのかが今後の課題です。

### ③ 観光振興の取り組み

鶴居村観光の特徴はタンチョウと釧路湿原などの自然景観ですが、多くは通過型で着地型観光への脱却が求められています。また商品開発についても鶴居村ならではのものが求められ、地場産野菜の販売では振興公社管理のビニールハウスの活用も再検討の余地はあるのではないかと意見が出ました。

### ④ まとめ

将来の観光ビジョンを検討する時期であり、拠点施設（道の駅など）および情報の一元化などについて、観光産業の可能性を検討していきます。



服部事務局長 説明中

## 議会運営委員会

- 3月1日に開催し、3月定例会の日程などについて協議しました。
- 3月8日に「TPP参加断固阻止」に関する意見書の取り扱いについて協議し今議会に提出することにしました。



## 議長・議員が出席した諸行事



タンチョウフェスティバル



下幌呂小学校卒業式



鶴居小学校入学式

鶴居小学校校舎改築  
安全祈願祭



つるい議会だより

平成25年4月25日発行 137号

村議会の動き

- 1月29日 総務常任委員会  
産業常任委員会  
議会新年会
- 2月13日 広報委員会
- 15日 道町村議長会理事会(札幌)
- 18日 釧路広域連合定例会
- 20日 議会運営委員会  
全員協議会
- 22日 北海道後期高齢者広域連合  
議会定例会(札幌)
- 25日 釧路町村議長会定例会
- 26日 釧路北部消防議会定例会
- 3月1日 議会運営委員会
- 8日 議会運営委員会
- 8~14日 3月定例会  
予算特別委員会
- 22日 臨時会  
広報委員会
- 25日 釧路北部消防議会臨時会
- 26日 釧路公立大学議会定例会
- 4月6日 広報委員会
- 9日 広報委員会
- 16日 産業常任委員会  
議会総会
- 17日 広報委員会

住民参加型議会へ

鶴居村 鶴居北 海老ヶ瀬 俊

平成23年の議会議員選挙により、鶴居村議会も新たに選出された陣容のもとで2年が経過したところです。

議員各位におかれましても、新たな気概をもって今日まで議員活動されてきたことと推察いたします。

さて、議会改革が叫ばれている昨今ですが、このことは国会に限らず、地方議会においても同様に求められているものと思います。

昨年は鶴居村長の交代や副村長・教育長の新任・再任などもあり、行政側においてもその組織体制に大きな変化があったところです。

議会の広報誌に傍聴者が僅少である旨の記載がありました。前記したことを契機に、村議会に対する住民の意見や意識などを聴取されてはいかがでしょうか。

現行議会は、議員側の質問に対し行政側が答弁に終始する形式ですが、行政側に対しても「反問権」を付与しその上で政策論議・論争するべきと考えます。

このことにより、双方の論点が一層明確化しより活発な議論の展開が図られるものと思いますし、議会の活性化に繋がる賢明なことの一例と考えます。

本年1月29日発行の『つるい議会だより』には、昨年10月に行政視察した、岩手県の一自治体の議会改革取り組みの具体的な事項が掲載されており、本村議会改革取り組みの一環としてのことと思っておりますので、今後の方向性やその進捗状況を注視し、また、期待いたします。

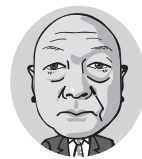
村議会は住民本位のものであると同時に、村政の方向性を示す「舵取り役」を最大の使命としている筈です。

住民各々が興味を抱き、注目される本村独自の特色ある村議会を目指し、議員各位の益々の研鑽と鶴居村議会の今後更なる発展を祈念いたします。

新旧議会議務局長あいさつ



岡田 栄  
前事務局長



田中 春樹  
新事務局長

このたび、議会議務局長の任を解かれ、村長部局への転属となりました。

3年の在任中、議長はじめ議員の皆様のおかげで、ご指導ご鞭撻によりまして、議事務を大過なく務めることが出来ました。

議員皆様の今後益々のご活躍と、住民皆様の深いご理解をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

鶴居村にとって、TPP参加は産業基盤を揺るがす大きな課題を抱えております。そうした中であって、議会の果たす役割は大変重要であると思っております。

議長をはじめ議員各位の指導のもと、住民皆様と議会・行政が一体となって「笑顔で活気溢れる美しい村づくり」実現のため、微力ではありますが努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

広報調査特別委員会

- 委員長 大津 泰則
- 副委員長 佐藤 吉人
- 委員 松井 洋和
- 委員 及川 満浩



間伐と間伐材の有効利用を促進して健全な森づくりに貢献します。

発行 北海道鶴居村議会 085・1203 鶴居村鶴居西1・1  
編集 広報調査特別委員会 0154・64・2116